

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 26 日作成)

小委員会名	暑熱環境適応検討小委員会		主 査 名：三坂育正 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)		委員長名：持田灯 主 査 名：宮崎ひろ志
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・前身の小委員会において、2014 年 3 月に出版した「クールルーフガイドブック」をベースに、都市ヒートアイランドを緩和する技術から適応策における対策技術を対象とした評価手法について検討を進めてきた。本小委員会では、暑熱環境に適応するための表面被覆技術（クールルーフ）を中心に、適応策としての性能とその評価方法、新たな材料（再帰反射材料など）の可能性、などについて議論するとともに、海外の研究事例の収集、情報交換を行うことを通して、適正な使用において必要な項目について検討を進めていく。</p> <p>・初年度：ヒートアイランド適応策（暑熱適応）としての必要な性能と評価方法、新たな材料の可能性や評価が困難な技術、などに関する研究事例を取り上げ、適正な普及のために整理すべき項目について議論する。</p> <p>・2 年度：引き続き、これらの技術の客観的な評価方法について検討する。併せて、海外の研究事例の収集、情報交換を行う。</p> <p>・3 年度：引き続き適正な普及のための議論を行い、これらの技術の客観的な評価方法について検討するとともに、建築学会としての方向性（提言）を示す。</p> <p>・4 年度：これまでの検討結果を取りまとめ、シンポジウム・公開研究会等により情報発信、情報交換を行う。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：三坂育正（日本工業大学） 幹事：赤川宏幸（大林組），小島倫直（竹中工務店） 竹林英樹（神戸大学），橋田祥子（東京大学），梅田和彦（大成建設）， 近藤靖史（東京都市大学），酒井孝司（明治大学），田坂太一（建材試験センター）， 西岡真稔（大阪市立大学），村田泰孝（崇城大学），森山正和（神戸大学名誉教授）， 吉田篤正（大阪府立大学），長谷川麻子（熊本大学），井原智彦（東京大学）		
設置 WG (WG 名：目的)	暑熱環境適応検討 WG		
2019 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価		
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）		
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし		
講習会	なし		
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし		
大会研究集会	なし		
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし		

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 暑熱環境対策の研究事例について、国際会議の情報や委員の研究成果、グリーンインフラ等の関連分野の動向について紹介し、議論を行った。 2. ヒートアイランド適応策となる暑熱環境対策技術の1つとして、再帰反射フィルムを取り上げ、普及に向けた取組みについて議論を行った。 3. 小委員会での議論の成果をまとめて、第8回都市環境デザインフォーラムにおいて報告した。 4. 小委員会での議論を実践において活用する目的で、神戸市と意見交換を行う(3月に予定)。
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特になし